

●●病院

●● ●● 様

第42回大分県病院学会 演題番号通知

ご登録いただいた演題はポスター発表に決定いたしました。

演題番号：A3●

- *演題番号先頭のアルファベットは発表会場、2番目の数字は群、3・4番目の数字は発表順を示します。
- *演題番号通知書類一式の到着確認も兼ねておりますので、内容をご確認後、メール本文下部の連絡票に必要事項をご記入いただき7月15日(月)までにご返信ください。

1. 発表までの準備について

(1) 登録内容の確認

添付ファイルの最終頁のプログラム(案)にて発表会場と発表順番、記載内容をご確認ください。記載ミスや変更等がありましたら、連絡票の「その他連絡事項」欄にご記入ください。

(2) 発表準備

発表原稿は7分をご用意ください。ポスターは次頁の規定(→3.)に沿って作成してください。

(3) 事前参加登録の申込

発表者も参加登録が必要です。 会員病院を通じて事前参加登録をしてください。事前参加登録をお申込みいただかないと、抄録は届きません。

病院附属施設(クリニック等)に所属の方は、貴院のご担当様へご確認をお願いいたします。

(4) 参加証・抄録集受取

学会開催1か月前に会員病院様へまとめて抄録集を送ります。抄録集を受け取られましたら、ご自分の掲載事項や待機時間帯などの確認をお願いします。また、今後の予定は抄録集の「学会参加の皆様へ」の頁でもご確認ください。

(5) その他

LINE登録のご協力をお願いします。事務局からの連絡に使用します。6月18日(火)までに右のQRコードを読み込み、**トーク画面に演題番号を入力され送信ください。**学会終了後には学会アンケートをお送りしますので、その後、事務局のトークルームを削除してください。何卒ご協力のほどお願いいたします。



事務局 LINE

2. ポスター発表当日について

(1) 受付 … 8:00~11:00

受付時間内にエントランスの「発表者受付」にて自分の演題番号をお申し出ください。名簿の記載事項の確認をし、「記章」を受け取ってください。受付時に掲示されたポスターの撮影許可の可否をお尋ねしますので、お知らせください。

受付時間に間に合わない場合は、11時までに大会本部までご連絡ください。その際は演題番号とお名前をお知らせください。

◎大会本部 TEL 097-540-5526 若しくは 080-6448-9405 (SMSも可)、LINE

(2) ポスター掲示 … 9:00～12:00

時間内にコンベンションホール会場内のご自分の演題番号が貼付された該当パネルにポスターを掲示してください。セロテープ若しくは押しピンは各自でご用意ください。ポスターの掲示内容について写真撮影を希望する参加者のために、演題番号下の「写真撮影 可・否」の可否のどちらかに○印をしてください。なお、演題名は各自でご用意ください。

(3) オリエンテーション … 12:50～13:00

会場責任者からの説明、および座長との打合せがありますので、各群の先頭パネルに集合してください。次頁の「発表者 当日の注意事項」に沿ってオリエンテーションを進めますので、**当日は次頁をご持参ください。**終了後、開会式を行いますのでご参加ください。

(4) 発表時間・発表形式

自座開始 10 分前には自パネル前に待機してください。共同研究者の方の同席は妨げません。

各セッションは 10 分間（**発表時間 7 分、質疑 3 分**）の予定ですが、質疑の状況により発表開始時間は前後します。余裕を持ったの待機をお願いします。

発表には可動式のマイク・スピーカーを使います。マイクは手持ちとなります。

注) 当日の発表者が変更になった場合は、ご自分の発表時間内に変更の旨をご報告の上ご発表下さい。

(5) ポスター撤去 … 16:00～16:10

発表後閲覧される方のためにできるだけ最後まで掲示をお願いいたします。掲示のためにポスター本部より借用した押しピンは返却し、セロテープ等ゴミはお持ち帰りください。ご自分で撤去されない場合は、16 時 10 分以降に業者が撤去作業を行います。

(6) 記章の返却

受付時にお渡しした「記章」は、お帰りの際にエントランスホール内の総合受付までご返却願います。

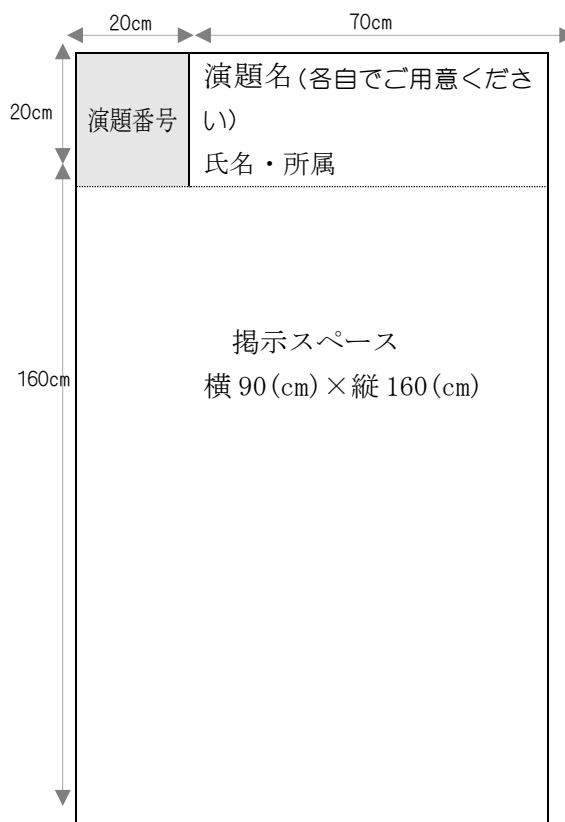
3. ポスターの掲示等について

- 掲示パネルサイズ：横 90 cm×縦 180 cm。
- 演題番号：実行委員会にて準備。
- 演題名・発表者氏名・所属掲示：各自で準備し、上方 70 cm×20 cm以内に掲示を。
- 掲示スペース：横 90 cm×縦 160 cm。

見やすい掲示のためにも、2 mの距離からも読める大きさと文字サイズは演題 4 cm 以上、本文 2 cm 以上。図表等は 20 cm角以上の大きさにする。また、テーマカラーを決めて同一色を使用し、統一感を出す。タイトルや見出しは大きめにし、文字は少なく図やイラストを多く取り入れる。以上のことを参考に作成。

以上

《お問合せ先》 一般社団法人大分県病院協会 事務局
〒870-0100 大分市大字駄原 2892-1
大分県医師会館 5 F
TEL:097-540-5526 ・ FAX:097-540-5597
E-MAIL: oha2@oitahospitals.jp (学会)



当日の確認事項・発表の流れ（A会場：コンベンションホール）

《確認事項》

- ① 演題番号下部の「写真撮影 可・否」の可否のどちらかに○印をしてください。
- ② 12時50分よりオリエンテーション（事前打ち合わせ）参加のため、会場内の各群の先頭パネルに集合してください。
- ③ 13時05分から開催される開会式へご参加ください。
- ④ 『記章』は退会時に総合案内までご返却ください。
- ⑤ ポスターの撤去は16時00分からです。

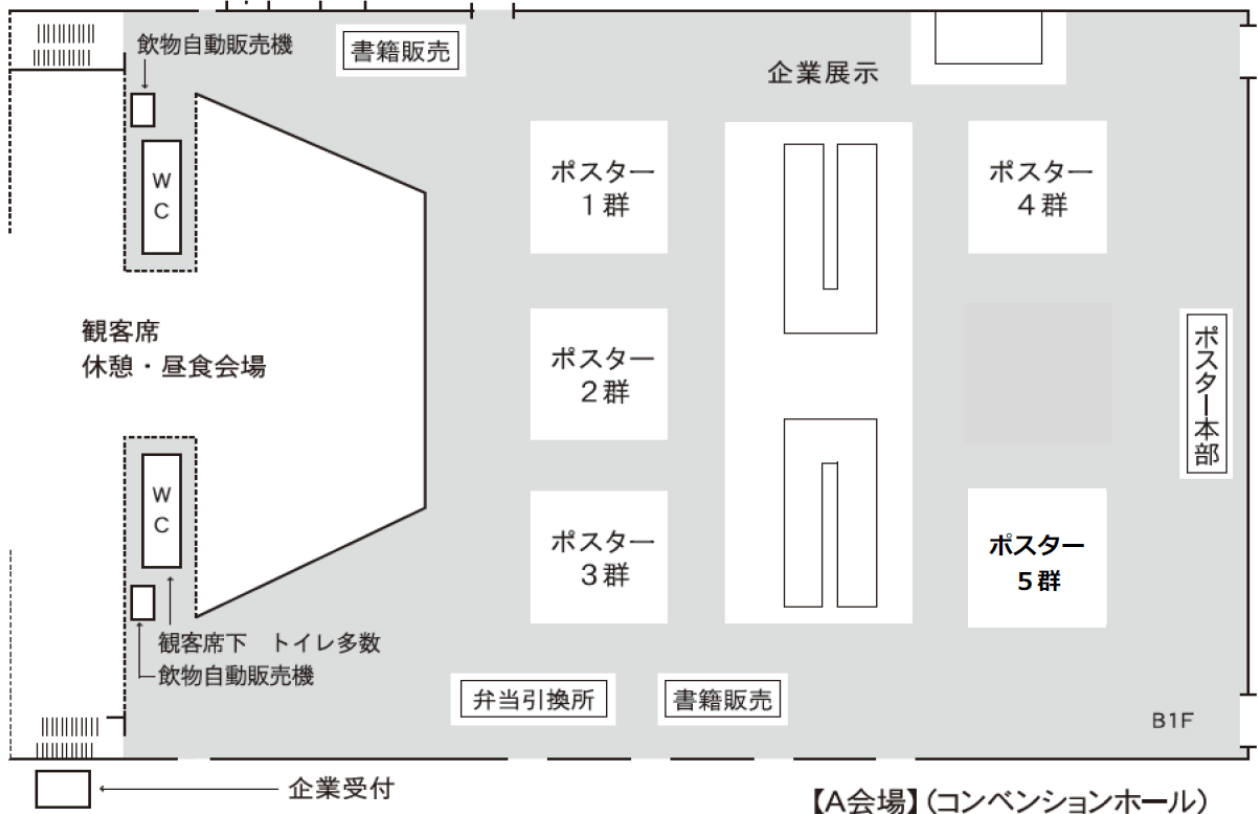


①見本

《発表の流れ》

- ① 自座開始10分前には自パネル前に待機。
- ② 座長が「演題」と発表者の「所属」、「氏名」を紹介するので、座長の開始の指示を待つ。
- ③ 発表開始。質疑応答を含めて10分。
発表者の交代や抄録内容に訂正がある場合は、自分の持ち時間内に行う。
- ④ 質疑応答が終わった後も、参加者との質疑応答・討論のため、ご自分の発表時間外も出来るだけポスターパネル脇に待機願います。

【ポスター会場レイアウト図】



【A会場】(コンベンションホール)

一般演題目次

【ポスターセッション3群 A会場：コンベンションホール】

分科会開会式 13時05分

| 演題 番号 | 登録 番号 | 【カテゴリ】 項目 | 演題 副演題 | 会員病院名 発表者 (職種) |
|----------------|----------|------------------|--|----------------------------|
| 1座 13:10～14:00 | | | | |
| A301 | 73 | 【研究・調査】 調査 | スキン-ケア 皮膚剥離を減らしたい ～チェックリストによる皮膚剥離の観察力向上への取組～ | 高田中央病院 郷司 早苗 (看護師) |
| A302 | 76 | 【研究・調査】 調査 | 患者の自主トレーニングに関するスタッフの意識調査 ～TKA術後患者へのパンフレットを導入して～ | 明野中央病院 塩月日奈子 (理学療法士) |
| A303 | 89 | 【研究・調査】 調査 | 骨粗鬆症リエゾンサービス前後の二次骨折予防の有用性 | 川島整形外科病院 石井 瑛 (作業療法士) |
| A304 | 39 | 【研究・調査】 調査 | 当院におけるパラスポーツ外来の実績報告 | 明野中央病院 谷口 直也 (理学療法士) |
| A305 | 114 | 【研究・調査】 調査 | 今後の病院給食の課題 | サンライズ酒井病院 日野 良美 (管理栄養士) |
| 2座 14:00～15:00 | | | | |
| A306 | 47 | 【研究・調査】 調査 | PNS導入後の外来看護の充実 ～患者支援の時間の確保～ | 中津第一病院 吉尾 美佳 (看護師) |
| A307 | 113 | 【研究・調査】 調査 | 新型コロナ流行期の全国感染者数と当院患者数の動向 | サンライズ酒井病院 兒玉 賢祐 (事務) |
| A308 | 94 | 【安全管理】 感染対策 | 手指消毒使用への習慣化に向けての取り組み ～携帯式アルコール消毒剤の導入～ | 曾根病院 菅 京介 (看護師) |
| A309 | 104 | 【安全管理】 感染対策 | 手指消毒遵守の向上と維持を目指して ～適切な手指衛生のタイミングの実態調査から見えることから～ | 高田中央病院 安藤 美雪 (看護師) |
| A310 | 13 | 【安全管理】 その他 | BLS全職員研修の継続的な取り組み | 中津第一病院 中川 大助 (臨床工学技士) |
| A311 | 97 | 【安全管理】 その他 | インプラント注文トラブル回避に向けた取り組み | 川島整形外科病院 田中 徹子 (看護師) |
| 3座 15:00～16:00 | | | | |
| A312 | 103 | 【安全管理】 その他 | 整形外科病棟における転倒予防への取り組みと評価 | 明野中央病院 神田 結実 (看護師) |
| A313 | 110 | 【安全管理】 医療安全管理 | マニュアル遵守による転倒率の推移と課題 | サンライズ酒井病院 工藤 百子 (看護師) |
| A314 | 105 | 【安全管理】 医療安全管理 | ベッドサイドにおける転倒リスク評価 | 大分記念病院 安部 亮佑 (理学療法士) |
| A315 | 148 | 【安全管理】 医療安全管理 | 転倒・転落防止への取り組みについて ～アセスメントシートに基づくフローチャートの運用～ | 大分記念病院 林 真由美 (看護師) |
| A316 | 93 | 【安全管理】 その他 | 拘縮のある患者の骨折予防を試みて | 別府中央病院 佐藤 海羽 (看護師) |
| A317 | 126 | 【安全管理】 医療安全管理 | 持参薬鑑別へのシステム導入による簡素化 | サンライズ酒井病院 矢野 純也 (薬剤師) |